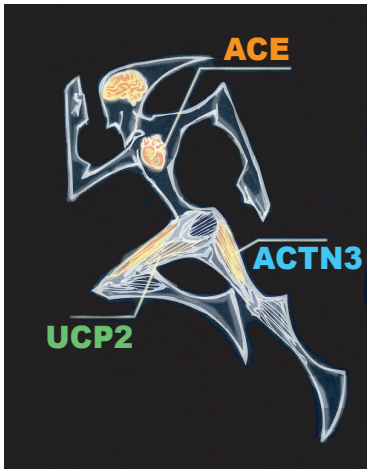
5月13日（金）
今話題の「スポーツ遺伝子」を知る！

遺伝子を調べる事で、どのようなスポーツ種目が合っているか？
どのようなトレーニング方法が合っているのか？
自分の遺伝子タイプを知り”可能性”を広げるためのセミナー

今回のセミナーではNHKの「追跡A to Z”金メダル遺伝子を探せ”」を始め、多くのメディアで紹介された『スポーツ遺伝子テスト』を提供している㈱スポーツスタイルの佐藤信幸社長を迎え「スポーツ遺伝子テスト・ベーシック３」を詳しく解説します。

当テストは、2003年にオーストラリアスポーツ研究所とシドニー大学、オーストラリア国立大学が、50人のオリンピック選手を含む300人以上のトップアスリートの検査を通して共同開発。その後、メルボルンの遺伝子検査会社ジェネティック・テクノロジーズ社（GTG社）がテストシステム全体を買い取り、国際特許を取得。2005年にスポーツスタイルが、日本における総販売代理店契約を締結し、これまでに日本人トップアスリートをはじめ、大学・実業団スポーツチーム、幼児・小中高生まで様々なスポーツ種目に関わる幅広い層の方の検査を行っています。



スポーツ遺伝子テスト・ベーシック３の概要

選手の体質には個人差があります。
例えば同じトレーニングメニューを課しても、その効果が出やすいタイプや出にくいタイプ。またトレーニング後の疲労が抜けやすいタイプや抜けにくいタイプなど、選手によってさまざまです。
スポーツ遺伝子テスト・ベーシック３では、ACTN3遺伝子テスト（筋肉特性）ACE遺伝子テスト（持久力特性）UCP2遺伝子テスト（省エネ特性）３種を調べ各アスリートの運動特性を詳細（27タイプ）に分類し、どのようなタイプなのかを見抜く事が可能となります。
それに基づき適性競技種目、トレーニング方法、コンディショニング調整法、食事法などに活かせ、選手それぞれの体質に合わせてオーダーメイド的なトレーニング指導が出来ることになります。

＊＊＊